



2022年2月4日

各位

住 所 東京都千代田区麹町五丁目1番地1
 会 社 名 芙蓉総合リース株式会社
 代表者の
 役職氏名 代表取締役社長 辻田 泰徳
 (コード番号: 8424 東証第1部)
 問合せ先 コーポレートコミュニケーション室長 木村 真弓
 電話番号 03 - 5275 - 8891

2022年3月期第3四半期決算の概要等について

2022年3月期第3四半期決算の概要等をお知らせいたします。
 本日発表いたしました「2022年3月期 第3四半期決算短信」もあわせてご参照ください。

1. 2022年3月期 第3四半期決算の概要

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも前年同期を上回る実績となり、第3四半期の過去最高実績を更新しています。

なお、第1四半期から「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用していることにより、売上高は減収となりましたが、損益への影響はありません。

営業資産残高(割賦未実現利益控除後)は、不動産リースや航空機リースの伸長等により、前期末比358億円(1.4%)増加し、2兆5,917億円となりました。

[2022年3月期 第3四半期(2021年4月～2021年12月)の決算概要(連結)]

(金額単位:百万円)

	当期実績	前年同期対比		通期予想
		増減額	増減率	
売上高*	463,070	△90,772	△16.4%	610,000
営業利益	34,518	3,105	9.9%	46,500
経常利益	38,943	5,107	15.1%	50,000
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	25,691	5,018	24.3%	31,000

*「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期の売上高については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。なお、従来の基準で売上高を認識した場合、5,687億円(対前年同四半期増減率+2.7%)となります。また、「収益認識に関する会計基準」等を適用したことによる損益への影響はありません。

2. 前年同期業績比較（連結）

当第3四半期の業績を前年同期実績と比較しますと、次のとおりであります。

（単位：億円、単位未満四捨五入）

	21年3月期 第3四半期実績 (20年4月~20年12月)	22年3月期 第3四半期実績 (21年4月~21年12月)	前年同期対比	
			増減額	増減率
売上高	5,538	4,631	△ 908	△ 16.4%
売上原価（資金原価除く）	4,854	3,900	△ 953	△ 19.6%
差引利益	685	731	46	6.7%
資金原価	75	72	△ 3	△ 3.9%
売上総利益	610	658	49	8.0%
販売費及び一般管理費	296	313	18	6.0%
うち 貸倒関連費用	15	23	9	61.9%
営業利益	314	345	31	9.9%
営業外損益	24	44	20	82.6%
うち 貸倒関連損益等	2	15	13	653.4%
経常利益	338	389	51	15.1%
特別損益	△ 0	7	7	—
税金等調整前四半期純利益	338	396	58	17.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	207	257	50	24.3%

1株当たり四半期純利益	689.58円	856.63円		
1株当たり純資産（前期末対比）	10,153.22円	10,850.20円		

（注）前年同期対比の増減額および増減率は、表示単位未満を含めた金額での計算結果を表示しております。

3. 営業実績（連結）

当第3四半期の営業実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

〔当第3四半期（2021年4月～2021年12月）（連結）〕（単位：億円、単位未満四捨五入）

	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益
リース	3,930	3,512	419	41	378
割賦	243	231	12	2	10
リース及び割賦計	4,173	3,743	430	43	388
ファイナンス	164	2	162	28	134
その他	294	156	138	2	137
合計	4,631	3,900	731	72	658

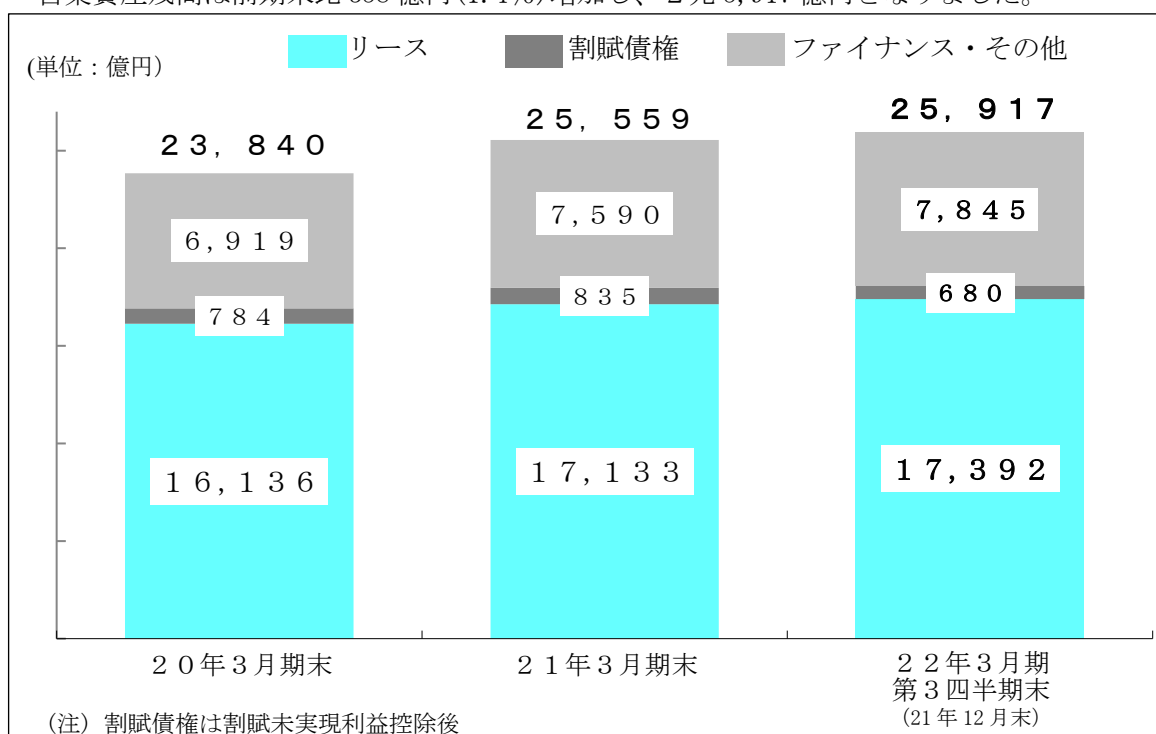
<ご参考>

〔前第3四半期（2020年4月～2020年12月）（連結）〕（単位：億円、単位未満四捨五入）

	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益
リース	3,755	3,362	393	40	353
割賦	317	304	14	3	11
リース及び割賦計	4,072	3,666	407	43	364
ファイナンス	147	3	144	30	114
その他	1,319	1,185	134	2	131
合計	5,538	4,854	685	75	610

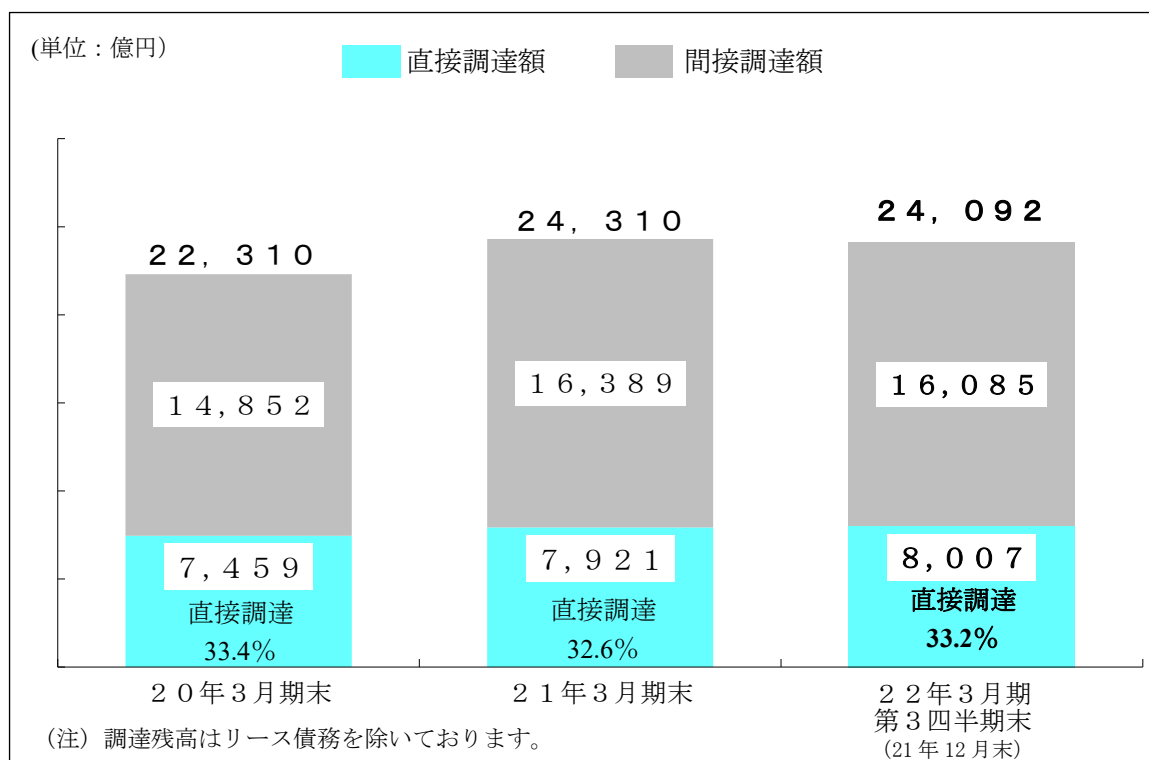
4. 営業資産残高の状況（連結）

営業資産残高は前期末比 358 億円(1.4%)増加し、2兆5,917億円となりました。



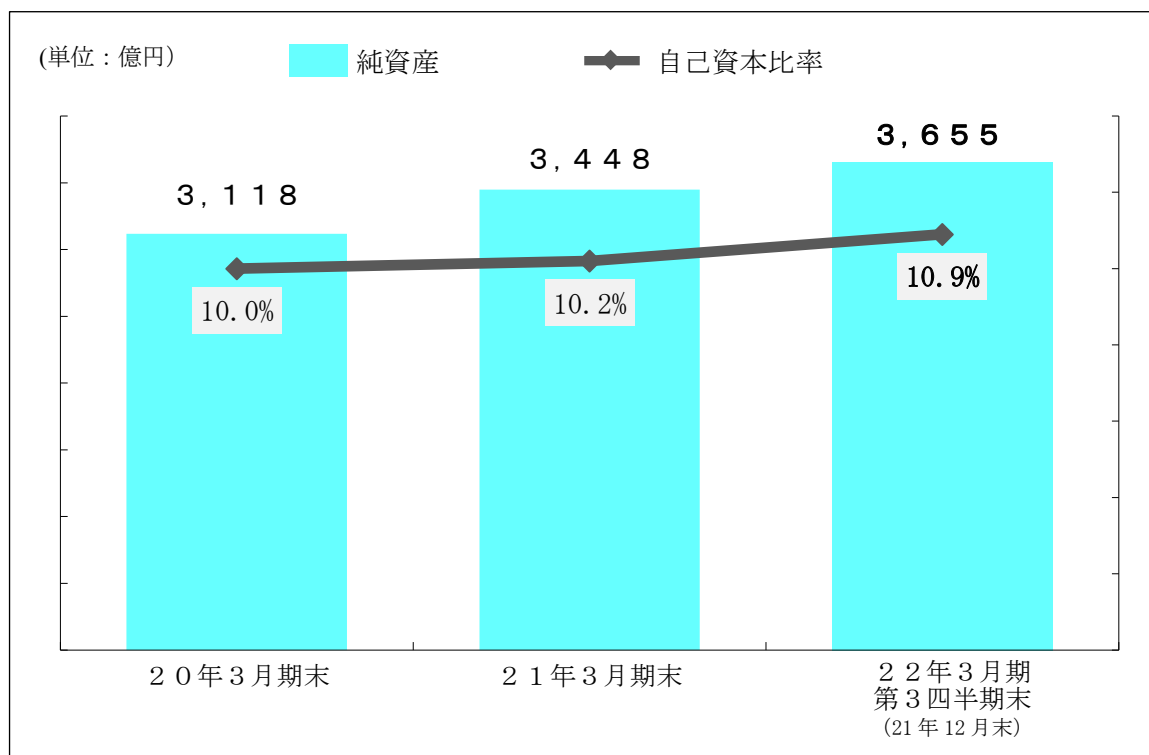
5. 調達状況（連結）

調達残高は、前期末比 218 億円 (0.9%) 減少し、2兆4,092億円となりました。また、直接調達比率は 33.2%となりました。



6. 純資産の状況（連結）

純資産は、前期末比 207 億円（6.0%）増加し、3,655 億円となりました。また、自己資本比率は 10.9%となりました。



7. 2022年3月期 連結業績予想ならびに配当予想について

2022年3月期の連結業績予想ならびに配当予想につきましては、2021年5月10日に公表いたしました数値からの変更はありません。

(1) 2022年3月期 連結業績予想

(金額単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
通 期	610,000	46,500	50,000	31,000	1,033円44銭

(2) 2022年3月期 配当予想

	第2四半期末 実績額	期 末	年 間
1株当たり配当金	130円	130円	260円

(注) 上記の業績および配当予想は現時点での予想数値であり、実際の業績および配当額は今後の様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

以上

【ご参考】リース契約実行高 機種別（連結）

（単位：億円）

	21年3月期 第3四半期	22年3月期 第3四半期
情報機器・事務機器	1,248	948
産業工作機械	216	144
土木建設機械	68	34
輸送用機器	284	453
医療機器	143	120
商業・サービス用機器	165	120
その他	1,402	1,760
合計	3,527	3,579

<構成比>

